

七千円等がその主なものです。

土木管理費

①土木総務費 三四、三九七千円
職員給料、諸手当などで大半を占め、需用費では、燃料費が三百四十万円、修繕費五十万円、備品購入費では、ブルドーザー購入費四百万円、ダンブカー(四トン)購入費二百三十万円が主なものです。

道路橋梁費

①道路維持費 四、〇六〇千円
砂利購入代五十万円、砂利運搬敷代代三百二十五万円、ヒューム管および蓋代二十五万円が主。

②道路新設改良費 三五、六〇〇千円
側溝整備八百五十万円、道路護岸整備四百五十万円、道路舗装整備一千万円、広域行政圏道路整備一千二百万円の工事請負費が主。

③橋梁維持費 一〇〇千円
橋梁修理原材料費の十万円。

④雪寒地域道路事業費 一〇、五〇〇千円
旅費六万七千円、印刷製本費十一万五千円のほか、大東ヶ丘線改良事業工事請負費一千三十万円が主です。

河川費

①河川総務費 一、八六三千円
岩木川堤防管理委託料百十万円、金木川、小田川堤防雑木葺委託料三十万円のほか、食糧費五万円

住宅費

①住宅管理費 一、五五四千円
旅費五万円、修理費百四十六万円、駅裏住宅敷地借上料三万四千円。

②住宅建設費 五四、五七七千円
職員給料、旅費のほか、七十四万八千円の需用費、第二種簡易耐火構造平屋建二十戸分三千八百七十八万円、給排水施設改良費百三十万円、公営住宅建設用地購入費一千三百万円が主なものです。

消防費

6,048万8千円

消防力強化に

五千三百万円

津軽北部消防事務組合へ

第二分団(川倉)

百八十六万円
小型動力ポンプ配置

消防費

津軽北部消防事務組合の負担金五千三百九万三千円をはじめ、報酬百四十万二千円、第二分団(川倉)に配置の小型動力ポンプ(積載車き装共)購入費百八十六万円等が主です。

①常備消防費 五三、〇九三万円
津軽北部消防事務組合負担金五千三百九万三千円。
②非常備消防費 四、七七七千円

小学校費

①学校管理費 四一、三八八千円
②教育振興費 三五〇千円
③学校建築費 一一九、九七〇千円

報酬百四十万二千円、表彰、弔慰謝礼などの報償費二十万円、旅費二十万円、需用費九十六万七千円、バッテリー、ホースの購入費四十万八千円、各種団体の負担金および助成金等で百二十九万一千円です。

③消防施設費 二、四一〇千円

教育費

4億1,760万0千円

喜良市小学校改築と

中央公民館建設費に

嘉瀬小学校プールも

昭和四十八年度から三年の継続事業である喜良市小学校改築工事及び二カ年継続の中央公民館建設工事と嘉瀬小学校プール建設などにより、教育費は特に大きく、総予算の三三・三%を占め、昨年度に比べ、予算規模は大巾に伸びています。

教育総務費

①教育委員会費 一五八千円
委員報酬と旅費です。

②事務局費 一九、一四〇千円
人件費が主で、通信運搬費、火災保険料が百五十六万六千円、修学旅行、学用品費、通学費補助等が三百四十四万二千円、県地教連、北五地教連、学校長会、北五中体連県小教研、県中教研負担金及び通学バス助成費等七十四万円となっています。

屯所(更生部落)改築、防火水そう修理五十五万円、小型動力ポンプ(積載車き装共)購入費百八十六万円。

④水防費 二〇八千円
炊き出し、修繕料など需用費八万八千円、備蓄資材五万円、水防団への助成金五万円等です。

④学校プール建築費 一七、一七五千円

中学校費

①学校管理費 一一、九五六千円
②教育振興費 四〇〇千円

社会教育費

①社会教育総務費 六、六三六千円
人件費のほか、需用費三十二万二千円、負担金補助が三十四万四千円が主なものです。

②中央婦人学級費 一一〇千円
③高令者学級費 四三〇千円
④公民館費 一〇、二四四千円
人件費のほか、備品購入費五十万円が主です。

⑤家庭教育学級費 四五〇千円
⑥青年教室費 四五千円
⑦校庭開放事業費 四〇〇千円
指導員謝金、消耗品費、卓球台野球用具等です。

⑧公民館建設費 一六八、九六〇千円
⑨青少年問題協議会費 二〇八千円

保健体育費

①保健体育総務費 一六七・一気
①保健体育総務費 一六七・一気
②社会体育費 一、一一九千円
③体育施設費 九四〇千円
グラウンド整備、周囲フェンス工事などが主です。

公債費

6,158万9千円

①元金 二八、七八九千円

長期債償還元金(長期借入金金の本年度返済元金)です。

②利子 三二、六五〇千円
長期債償還利子および一時借入金金の利子です。
③公債諸費 一五〇千円
長期債元利支払手数料です。

諸支出金

八六万四千円

①奨学金貸与基金積立金 八六四千円

公営企業費

水道事業特別会計出資金 二四、七七八千円

特別会計繰出金

国保特別会計(直診勘定)繰出金 二四、七七八千円

予備費

二〇〇万〇千円

①予備費 二、〇〇〇千円

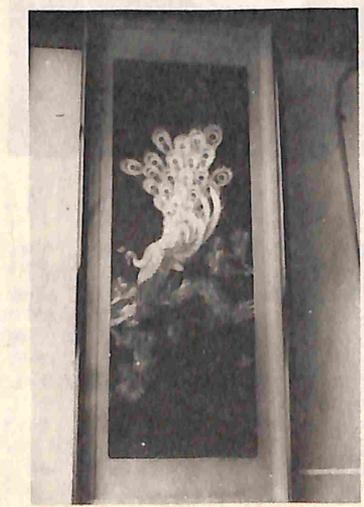
金木町新生活運動 推進協議会結成

会長には大橋忠勝町長

八月六日、役場三階会議室に於いて、諸機関・体団・職域・地域の代表者が集まり、金木町にふさわしい新生活運動の方向を見極め町民こそって実践しようと、金木町新生活運動推進協議会を結成しました。

この協議会は、家庭・職場・社会を通じ金木町に適した生活環境の確立と生活の合理化を図り、明るく楽しい町の生活を創造し福祉社会を築くための町民運動を展開することを以て目的とします。会長には、この運動の推進に大変意欲的な大橋忠勝町長が万場一致で推せんされ、副会長には町議会野宮雄造副議長、高橋元弥商工会長、相馬京子連合婦人会長がそれぞれ推せんされました。つづいて金木町新生活運動要綱の案を練り、重点目標を「時代を見つめ、生活の合理化をはかりましょう」とし、すべての町民が健康で明るく豊かな生活を営むために、時代の動きをみつめつつ日常生活を反省し、よりよい生活を営むための正しい在り方を考え、と共に、公私の生活を刷新し、融和と協調の心で明るい家庭、住みよい町づくりに努力することを目的とする、と決めました。

- ①家族ぐるみで生活の合理化をは
- 具体目標としては、
- ① おたがいに困る習俗はあらためましょう。
 - ② くだらない生活をしましょう。
 - ③ 若い力を伸ばす明るい環境をつくりましょう。
 - ④ 公私の生活信条の昂揚
 - ⑤ 時間の尊重
 - ⑥ 結婚祝賀会の簡素化
 - ⑦ 葬儀の冗費節約
 - ⑧ 各種贈答の検討
 - ⑨ 生活道德の昂揚
 - ⑩ 健康管理
 - ⑪ 豊かな生活実現への努力
 - ⑫ 以上ですが、本年度は特に②③④⑤の項目に力を入れることにしました。



最近の経済状態から考えて当然ながら、結婚費用、葬儀費用のかなりすぎが議題の中心となり、③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫の項目に力を入れることにしました。

六月二十より旧営林署跡に於いて金木町商工会青年部主催の中国物産展が開催され、好評を博しました。同青年部では、利益金の殆どを青少年の健全育成に役だ

利益金を町に寄付

金木町商工会 青年部の善意!!

てようと、金木小・中学校には情操教育用として「中国麦借画(左記写真)」一点ずつを寄贈、また少年団体育成費の一部に当てるようにと町に過分の寄付を申し出、

- 一、金木町民生委員 推せん会委員 二名
- 二、金木町地籍調査 促進委員会委員 二名
- 三、金木町総合計画 審議会委員 五名
- 四、金木町褒賞審査会 委員 四名

人負担を少なくするため会費制をすめる。④については、葬儀は厳粛に、経費は節約するようにつとめましょう。

⑤通夜のお酒接待、お土産提供は廃止しましょう。

⑥供花・花輪・供物類は自粛しましょう。

とし、特に花輪については、花輪料として二千元を供え、農協推せんのカラーポスターを使用する。香典は一般は五百円以下とし、香典返しは礼状とする等が主として決まりましたが、詳細については後日毎戸に配布する予定ですので

御協力をお願いいたします。なお、実践地区又は実践グループに指定を受けた方は事務局(教育委員会社教)へお知らせ下さい。

最後に、この協議会は町民の幸せを高め、生活を改善する方向を求め、ために存在価値があるので、実践はすべての町民です。から、住民運動の一つとして進められます。従って、町民の一人一人の御意見、アイデアを大切にしたいと思えます。事務局へどしどし御意見をお寄せ下さることをお願いいたします。

記

委員募集中

昭和四十九年九月三十日まで任期満了による左記委員会の委員(学識経験者)を応募します。希望者は九月十六日(月曜日)まで役場町民ホール(案内までお申し込み願います。

西ヨーロッパの農業視察報告

西ドイツの農業

中 谷 肇



り、一九五八年にマシーネンリングが提唱され、一九六二年にシュタデー地区にホルネブル、ベックドルフと続いて設立され、その成果が世界の注目をあびている。アシーネンリングとは農業機械

青森県農業青年西ヨーロッパ農業事情視察団の一員として、九月三日から十九日間、西ヨーロッパ六ヶ国、西ドイツ、デンマーク、オランダ、フランス、スイス、イタリアの農業事情視察を目的に、揺れ動く西ヨーロッパの農業と生活状況などを見てきた。

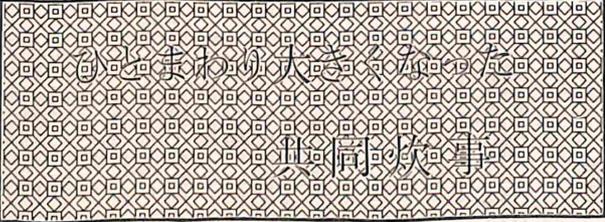
限られた日程で走り廻り、ほんの一部をかいた感じであるが生きた現実に接し、先進農業国の経営、農業に対する考え方、都市の生活状況など、その新しい知識と考え方を学ぶことができた。最初の訪問国は西ドイツだった。この国は工業化が進み、産業構造の変化が急ピッチで進んでおり、農業に従事する労働力不足、それに伴う機械化と、我国と共通した悩みをもっているだけに興味深い国であった。

銀行と訳され、農業の機械化貧乏の解消打開策として注目をあびており、興味深く期待も大きかった。私共はマシーネンリング十年の歴史をもつベックドルフの村長であり、マシーネンリングのマネージャーをして見るピーガズさんに現場の活動状況を見学しながら説明を受けた。

一、発想
金銭を扱う銀行は金を預り他人に貸し、預けた人はいつでも必要な時に払いもどしをして利用できる。又借りることもできる。農業機械作業でもそれと似たことができなぬものなのか？
そこから生まれたものがマシーネンリング（農業機械銀行）である。

二、内容
例えば、稲作において高性能なトラクターを所有するものが、耕起整地作業を自己の経営をこえて他のほ場まで受託作業をして、その機械の作業能力を発揮させる。又、田植機を所有するものは、委託する農家の田植作業を受託するやり方である。その運営を円滑に

する為、マネージャー（銀行管理者）が受託、委託作業の情報を集め、よりの確に仲介あつせんを行なう。また精算も行なう。このようなことを組織化したものである。ピガズさんの話しによれば、マシーネンリング設立前はわが国と同じく、個人が農家の経済を越えるほどの高性能な機械を沢山買いうる経営になってしまった。そこで共同購入、共同利用が進んだがそれも壁にあたり、考えられたのが組織化されたマシーネンリングだそうである。



金木普及所 生活改善班



見栄や無駄をなくし、農繁期の栄養確保と主婦の負担を軽くするために、金木町では初めての共同炊事が昨年嘉瀬の有志で実施され好評でしたが、今年は二年目、更に大きくなって実施されました。

又、昨年の成果をきいた喜良市の主婦たちも、何度か話し合いを重ねた上で、とうとう実施にふみきました。勿論、嘉瀬の人達の応援があったことは云うまでもありません。社教や役場、農協からも協力していただき、町長さんからも激励の言葉をいただきました。実施してみても、「最初は反対されたけど、参加して本当に良かった。」「気苦労がないだけでいいのに、食事が楽しみで作業がはかどった。」などと大好評でした。

- 一、自分達で運営しているという意識が欠けてきている（仕出し屋に注文するように頼みつつの傾向が強い）
- 二、責任者や炊事婦の負担が大きくなり疲労がひどい（施設や炊事婦の処理能力の限界）
- 三、食器や大量炊事用設備器具の不足
- 四、材料調達の手配、ハウスの活用、農協冷蔵庫の活用）
- 五、田植時間の検討

反省会ではこれらの問題を話し合い、更に充実させていくために地域毎に共炊の推進委員を定めるなど、部落ぐるみの運動に発展していこうとしています。



